

## WEB 理事会議事録

日時：令和4年3月26日（土） 午後13時30分～

参加者：須貝会長、山河氏、森島氏、

宮園氏、廣瀬<sub>武</sub>氏、林<sub>節</sub>氏、藤井氏

宇佐美氏、原氏、國枝氏、加藤氏、野尻氏、寺倉氏

### 会長（須貝）

#### ■日本作業療法士協会 新規入会者促進事業

- ・日時：令和4年1月28日（金）19：00～
- ・参加者：須貝氏
- ・内容新規入会者促進事業スライド資料作成  
協会、士会、養成校教員などどなたでも使用できる入会促進資料の作成。  
協会ホームページからダウンロード可能

#### ■平成医療短期大学 医療職臨床関係者教育連携会議

- ・日時：令和4年2月7日（月）14：00～
- ・参加者：須貝会長
- ・内容：①令和3年度教育改革の成果検証および令和4年度施策案について  
②臨床関係者からの意見・質疑応答など

#### ■卒業者向け新規入会促進事業

- ・日時：令和4年2月22日（火）10：30～
- ・参加者：須貝氏
- ・内容：養成校卒業生に対する協会・士会内容のプレゼン協会・士会入会案内

#### ■岐阜県リハビリテーション協議会 定例理事会

- ・日時：令和4年3月5日（土）19：30～
- ・参加者：柴氏、廣渡氏、須貝氏
- ・内容
  - ①リハビリテーション啓発部（高校生一日体験）
  - ②地域包括ケア推進部
  - ③災害リハ対策部
  - ④施設情報交流会について
  - ⑤こども福祉機器展について
  - ⑥仮決算報告
  - ⑦事務局機能強化
  - ⑧各士会からの納入金について
  - ⑨事業計画運営関連
  - ⑩総会 5月下旬～6月上旬を予定  
<代議員選出>  
柴氏、須貝氏、君垣氏、山河氏

## ■47 委員会

・日時：令和4年3月12日（土）9：00～

・参加者：君垣氏、須貝氏、山河氏

・内容

① 組織率向上対策

② 第4次5か年戦略 中間報告

③ 倫理委員会 1) アンケート報告 2) 各士会の倫理対応体制（福島、熊本） 3) 各士会の啓発に対する取り組み（和歌山、島根、岡山）

④ 国際部報告

⑤ 生活環境支援推進室

⑥ 制度対策部 1) 診療報酬改定 2) 認知症への取り組み推進

⑦ MTDLP 室報告

⑧ 女性会員の参加促進事業報告

⑨ 協会組織改編（新たな47委員会のあり方の提案）

・来年度の次回47委員会開催予定

6月、9月、12月、3月（9月は対面、そのほかはオンライン）

・「ごったに」掲載記事について

定年退職の退会者より、「一線を退いたOTのメッセージを掲載してはどうか？」という提案があった→広報部で対応を検討

## ■養成校 卒入学式来賓派遣について

コロナ禍により、卒入学式の来賓参加については出席取りやめ

## 機関紙編集部（宇佐美）

### ■岐阜県作業療法第22巻

・投稿数：5論文

・査読編集：査読中。査読終了次第、編集・印刷へ。

≪提案・検討≫

・査読者候補

1) 条件の確認

・博士・修士・認定OT取得者、学会長・座長経験者

2) 候補 別紙

### ■令和4年度の予算

・本年度印刷を2回予定していたが、1回となった。来年に本年度残り1回分の印刷費を繰り越し可能か？→宮園氏に確認

## 地域リハ推進部（藤井）

### ■認知症アップデート研修会

- ・担当者：君垣氏
- ・日時：令和4年2月13日9:00～
- ・スタッフと講師：4名（君垣氏、小森氏、細沢氏、今津氏）
- ・参加者10名

### ■今後の課題

協会が主導する認知症アップデート研修は今年度で終了となるが、今後どのような活動を計画するかを検討している。認知症当事者や、家族との連携も課題となる。

### ■MTDLP 受講者数及び実践者数の増加について

担当者は山田氏。2022年度より、全国を複数グループに分類し、グループ単位で活動を検討し実践することで全体的に強化していくこととなった。岐阜県はMTDLPの普及が進んでおらず、現職者研修としての基礎研修のみが実施されている。2022年度は、活動強化するとともに他県士会の研修会を岐阜県士会員にも案内し、参加を促していく。

### ■JAOT 地域支援事業

- ・2022年度も全国研修会とCブロック研修会を進めていく。
- ・テーマ：地域支援事業の進展と共生社会へ
- ・岐阜県の地域支援事業参画の状況が乏しいことが指摘されている。

### ■行政との連携・派遣事業

- ・各務原市フレイル予防推進事業
- ・2022年4月に委員会開催予定
- ・今後の焦点は「地域包括ケアシステムの構築・進展から効果的かつ持続的な予防と共生社会の実現」である。
- ・岐阜リハ協議会へOT派遣（池戸氏）を依頼した。
- ・岐阜県介護予防推進事業  
厚労省「介護予防マニュアル」が改訂された。これにより、岐阜県介護予防マニュアルも改定する（OT担当は藤井氏）。県アドバイザー制の導入も打診。
- ・岐阜市保健センターからOT派遣事業  
2022年度より開始見込み
- ・地域ケア会議  
大垣市、羽島市、瑞穂市、岐南氏、山県市、への派遣が予定されている。

- ・岐阜県補助金事業  
内容を検討中

■岐阜県 PTOTST 人材育成事業

- ・担当者：坪内氏  
2022 年度も 2021 年度と同様な研修会開催を予定。OT 会員への周知方法を検討中。

生涯教育部（林節）

■令和 4 年度臨床実習指導者講習会

- ・日時：令和 4 年 7 月 30、31 日（募集人数 80 名を予定）
- ・実施方法：ZOOM 使用した Web 講習会
- ・本部：平成医療短期大学
- ・講師：ファシリテーターは現在検討中。本研修会は今まで通りのスタッフにお願いし、実施予定。

現職者研修（森島）

■現職者研修選択研修 MTDLP 基礎研修

- ・令和 4 年 2 月 27 日
- ・参加人数：15 名
- ・運営は平成医療短期大学の 1 室にて実施

≪検討≫

- ・現職者共通研修の読み替えに関して
- ・事例検討、事例報告は読み替えが可能。
- ・読み替えにあたり、必要事項をまとめたものを県士会ホームページに載せることは可能か？また、申請作業は研修会受講名簿を作成する。作成名簿は、読み替え申請があれば、極力まとめて作成作業を行えればと考えている。申請期限を月に一度設ける、また隔月一度設けるなどして作業負担を軽減できればと思う。

広報部一般向け（奥谷）

■一般向けチラシの作成

2 月下旬にメールでお知らせしたチラシの確認作業が終了。変更、修正箇所の指摘なく現行のもので完成とさせていただく。来年度イベント時に配布可能となるように印刷作業進めていく。

- チラシ作成費：15,000 円（両面分）

## 学術部（中島）

### ■研修会開催報告

- ・テーマ：作業療法における理療プログラムの考え方
- ・講師：小川 貴哉氏
- ・日時：令和4年2月12日（土）10：00～
- ・内容：自宅での生活を想定した作業療法評価に必要な思考と、治療プログラム立案について。
- ・形式：WEB開催
- ・参加者：8名

### ■次年度の課題

- ・県士会員の研修会テーマのニーズを把握するため、アンケート実施
- ・研修会の広報方法の再検討
- ・MTDLPを絡めた研修会企画の検討

## 総会運営部（國枝）

### ■総会議案書最終確認作業

- ・日時：4月24日（日）14時以降
- ・場所：平成医療短期大学

## 事務局（山河）

### ■会員数とメール配信システム登録状況

登録者数：547名（総会員数：626名、施設数：170、自宅会員：71名）

### ■会費払い込み書への会費未納情報の掲載について

- ① 連名ではなく、1会員一枚の払い込み書
- ② ②未納分の払い込み書を別にする
- ③ 従来通りとし、未納情報が印字されることを会員へ了解を得る →③とする。

### ■県士会年間予定表の更新

オンライン上で管理。広報部の記事の参考とする。

### ■寄贈マスクの配布について

県士会で配布対象を指定し、会員に希望を取ってはどうか？→募集を募る

■社員総会日程確認

社員総会：令和4年6月26日：

新人オリエンテーション：令和4年5月22日

■県士会でのポケットWi-Fi2台の解約について

約10万円弱の支出減となる見込み。

■県士会 ZOOM へのアクセス

パスワードは個別のメール通知、オンライン年間予定表に表示を利用してほしい。

■活動入力ファイル（各部局へ配布）

来年度も継続したい。今年度見つけた修正箇所を反映させていく。

■少額の日当旅費の支給について

金額が3,000円以上の場合には振込、下回る場合は総務部でストックし、金額がまとまったら支給する。手渡し、金券渡しの場合には金額を問わない。各部長の判断で。

学会（廣瀬武）

■演題登録：13件（3月25日で査読終了）

■市民公開講座について

2月25日にバスケットボール秋田選手の動画撮影終了

現在編集作業中

■技術講座について

3月末より松岡洋子先生と打ち合わせ開始。

5月9日に動画撮影予定。

■案内チラシ

4月中旬に完成。広報誌「ごったに」の発送に間に合わせたい。

■協賛について

現在4社しか集まっておらず、大きな協賛収入は見込めない。支出を抑えたい。

## 東海北陸作業療法学会（加藤）

■日程：2023年11月4、5日

### ■会場案

- ① 大垣市情報工房
- ② 大垣市ソフトピアジャパン
- ③ 岐阜市（岐阜駅隣接）十六プラザ
- ④ 岐阜市（岐阜駅そば）岐阜大学サテライトキャンパス
- ⑤ 岐阜市文化センター

→費用を考慮して、会場は①または②とする

コロナ禍の情勢を考慮して、感染拡大の場合は、開催方式の変更（オンライン）は行わず、学会中止とする。

## 財務部（宮園）

■会計事務所訪問：4月初旬に

■会計監査：4月3週目予定

### ■東海北陸作業療法士学会関連の支出

第15回東海北陸作業療法学会の総支出は約481万円で、士会の補助は約44万円。  
来年度予算案通りの分配となると、現状で立替えできる金額は約100万円。